

EXPRESSBUILDER

EXPRESSBUILDER

1.概要

- EXPRESSBUILDER は、Express5800 シリーズをセットアップするための統合環境を提供します。
- 本体に添付されています CD-ROM には、EXPRESSBUILDER のほかに、管理・運用のための各種ユーティリティやオンラインドキュメントが格納されています。また、サーバ管理ツールとして ESMPRO Server Manager/Server Agent を提供しております。
- EXPRESSBUILDER でサポートしております「シームレスセットアップ」は、ハードウェアの設定からオペレーティングシステムのインストール、および各種アプリケーションのセットアップまでを一連の流れの中で行う Express5800 独自のセットアップ方法です。
- EXPRESSBUILDER は、次の 2 つのフェーズを持ち、それぞれで実行できるユーティリティやセットアップできるソフトウェアが異なります。
 - a) Express5800 シリーズ で、EXPRESSBUILDER CD-ROM から起動させる
 - ・シームレスセットアップが実行できます。
 - EXPRESSBUILDER はバージョンによって対応機種が異なります。必ず本体装置に添付された EXPRESSBUILDER から起動させてください。
 - b) Windows NT 4.0/2000/95/98/Me が動作しているコンピューターへ、EXPRESSBUILDER CD-ROM をセットする
 - ・Windows 上で動作する各種ソフトウェアをインストールできます。



a)のときの画面表示例



b)のときの画面表示例

2.EXPRESSBUILDER の主な収録内容

収録内容	説明
オペレーティングシステム セットアップ	
ExpressPicnic	シームレスセットアップで使用するセットアップ情報ファイルを作成するためのユーティリティです。
Windows NT 4.0 / Windows 2000 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER	Windows NT 4.0 / Windows 2000 のインストールまたはシステム修復の際に必要なとなるフロッピーディスクです。
システムのアップデート	Windows NT 4.0 / Windows 2000 の OS 差分モジュールを適用します。
インストールシステム(セットアップ用 MS-DOS)	NetWare のインストールの際に必要なとなるフロッピーディスクです。
サーバ監視・管理	
ESMPRO/ServerAgent, ESMPRO/ServerManager	サーバ管理ソフトウェアです。 ServerAgent : 本体サーバにインストール ServerManager : 監視を行う本体サーバまたはクライアントにインストール
MWA (Management Workstation Application)	システム管理用 PC (ESMPRO/ServerManager などが動作しているコンピューター) から、ネットワークを通じて対象マシンをリモート管理するためのアプリケーションです。
オフライン保守ユーティリティ	オペレーティングシステムが起動しないような重大な障害発生時に、障害原因を解析するためのユーティリティです。
システム診断ユーティリティ (T&D)	本体の機能および本体と拡張ボードとの接続などを検査するユーティリティです。
ディスクアレイ保守・管理	
Mylex DAC コンフィグレーションユーティリティ (DACCF)	Mylex ディスクアレイコントローラのコンフィグレーションユーティリティです。通常は Global Array Manager を使用して管理・保守します。また、最新の Mylex アレイボードでは、ボード上の ROM からユーティリティ (RAID EzAssist) を起動するため、本ユーティリティは使用しません。
Global Array Manager (GAM)	Mylex ディスクアレイコントローラを、OS 上からオンラインで保守・管理するアプリケーションです。
自動クリーンアップツール (CCTOOL)	Mylex ディスクアレイに対して定期的にコンシステンシチェックを実施し、検出した不整合を修復します。定期的にコンシステンシチェックをすることで、ディスクアレイのリビルドの失敗を予防することができます。
Array Recovery Tool (ART)	Mylex ディスクアレイに対して、接続された各ハードディスクの状態監視や自動修復を行います。
Power Console Plus	AMI 社製ディスクアレイコントローラ(MegaRAID)を OS 上からオンラインで制御するためのユーティリティです。CCTOOL と同等の機能も持ち合わせています。
Fast Check	ディスクミラーリングコントローラで制御・構築されているアレイディスクの保守・管理を行うためのユーティリティです。
その他	
オンラインドキュメント	HTML 文書/PDF 形式のファイルで提供されています。HTML ブラウザ (Internet Explorer 5.5 推奨) と Adobe Acrobat Reader 4.0 がセットアップ済みのコンピューター上でご使用ください。
テープ監視ツール	自己診断機能をサポートするテープ装置から、通報される 自己診断情報(TapeAlert 情報)を基に、コンソール上へのポップアップメッセージ出力などを行います。

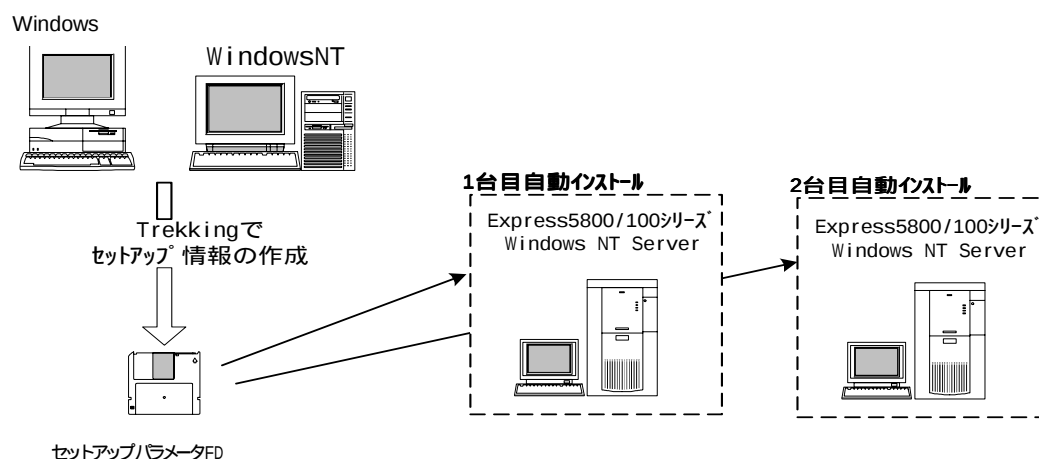
3. シームレスセットアップ

- シームレスセットアップは、あらかじめセットアップ開始前にセットアップに必要な情報を編集しフロッピーディスク（セットアップパラメータFD）に保存しておき、セットアップの際にその情報を逐一読み出して、自動的に一連のセットアップを進めます。最初にセットアップ情報を編集するだけで後は自動的にセットアップを進めます。

- Trekking コマンド（セットアップ情報設定ツール）にて、予めサーバのセットアップ情報ファイルをFD（セットアップパラメータFD）に作成し、Windows NT 4.0/Windows 2000 のインストール時に読み込ませることも可能です。大量導入時に活用できます。

設定内容を確認したい時は、セットアップパラメータFDの内容を印刷することもできます。

- * Trekking コマンドは Windows 95、Windows98、Windows Me、Windows NT 3.51、Windows NT 4.0、Windows2000 の動作する Intel 製プロセッサを搭載したコンピュータで動作可能。



4. セットアップ概要

Express5800 シリーズのセットアップは、EXPRESSBUILDER のシームレスセットアップを使用します。マニュアルでのセットアップは、保守用パーティションを設定したくないなどの特殊なインストール時のみ使用します。

・シームレスセットアップ

ハードウェアの内部的なパラメータや状態の設定から OS(Windows NT 4.0/Windows2000)、各種ユーティリティのインストールまでを切れ目なく(シームレスで)セットアップできる Express5800 シリーズ独自のセットアップ方法です。

・マニュアルセットアップ

RAID の設定や OS のインストール、各種ユーティリティのセットアップなどを手作業で行う方法です。

■ シームレスセットアップの使用方法

● 通常の場合

EXPRESSBUILDER の起動

添付された EXPRESSBUILDER CD-ROM からブートする。



セットアップ情報の入力

Windows NT 4.0/Windows 2000 のセットアップ情報を入力する。
必要に応じて ESMPPRO/ServerManager, ServerAgent 等の各種ソフトウェアの情報を入力する。また Windows NT 4.0/Windows 2000 のインストールを行わずハードウェアの設定のみを行うときは、インストール OS 種別の指定で「その他」(または「Other」)を選択する。



セットアップパラメータ FD の作成

セットアップ情報をセットアップパラメータ FD に保存する。



セットアップの開始

セットアップが自動的に進行する。

● 事前に設定情報を作成する場合

Windows95、Windows98、Windows Me、WindowsNT4.0、Windows2000 で動作するコンピュータに ExpressPicnic をインストールし、Trekking コマンドを起動することで、シームレスセットアップで使用する設定ファイル(***.tre)を『セットアップパラメータFD』に保存することができます。

Trekking コマンドのインストール

Windows NT 4.0/Windows 2000 のセットアップ情報ファイルを作成するためのツール (Trekking コマンド) を Windows95、Windows98、WindowsMe、Windows NT 3.51、WindowsNT4.0、Windows2000 で動作するコンピュータにインストールする。



セットアップパラメータFDの作成

インストールした Trekking コマンドで、WindowsNT 4.0/Windows 2000 のセットアップのセットアップ情報を設定し、セットアップパラメータFDを作成する。



シームレスセットアップの起動

EXPRESSBUILDER より「シームレスセットアップ」を選択する。
その後「セットアップ情報の入力/確認」から、Trekking コマンドで作成したファイルを選択し、Windows NT 4.0/Windows 2000 をインストールする。



セットアップ情報の確認 / 修正

セットアップ情報の内容を確認及び修正を行う。



セットアップの開始

セットアップが自動的に進行する。

■ マニュアルセットアップの使用方法

- ・ マニュアルセットアップは、手作業でディスクアレイの設定からオペレーティングシステムのインストールを実施する方法です。
- ・ 次のような場合に限り、必要に応じてマニュアルセットアップを実行してください。

A . Windows NT 4.0 Terminal Server Edition / Linux などシームレスセットアップが未サポートの OS をインストールするとき

- 1 シームレスセットアップの設定で、インストール OS の種別選択時に「その他」を選択する
- 2 シームレスセットアップを実行する
アレイディスクの設定、保守用パーティションの設定を行い終了します。
- 3 以降は、各 OS のインストール方法に従ってインストールを続行する
Windows NT4.0/TSE/2000 については、マニュアルセットアップが可能な機種の場合、オンラインドキュメントに「インストールサブリメントガイド」が収録されていますので参照してください。

B . 特殊な RAID 設定を行いたいとき

- 1 接続したアレイコントローラに応じて、DACCF またはボード上のツールを起動する
DACCF は、「サポートディスクの作成」から起動フロッピーディスクを作成して実行してください。
ボード上のツールを起動する場合は、各ボードに添付のマニュアルに従って、POST から起動してください。
- 2 RAID の設定を行う
- 3 以降は、通常通りシームレスセットアップを実行する
シームレスセットアップの設定で、「RAID の新規作成」はチェックしないでください。

C . 保守用パーティションを作成したくないとき

- 1 接続したアレイコントローラに応じて、DACCF またはボード上のツールを起動する
上記、B - 1 を参照してください。
- 2 RAID の設定を行う
- 3 以降は、各 OS のインストール方法に従ってインストールを続行する
上記、A - 3 を参照してください。

5.注意事項

- ・ EXPRESSBUILDER からシステムを起動する場合、必ず CD-ROM が添付されていた装置においてのみ実行してください。
- ・ EXPRESSBUILDER を終了する際には、必ずトップメニューの「終了」を選択してください。各ユーティリティやシームレスセットアップの実行中に、電源を切るなどして強制終了させないでください。
- ・ シームレスセットアップは Microsoft Windows NT 4.0 Terminal Server Edition は未サポートです。
(インストール OS 種別の指定で「その他」を指定してください)
- ・ Linux をインストールする際は、インストール OS 種別の指定で「その他」を指定してください。
また、パーティション作成の際には、fdisk(Linux 版)を使用されることを推奨します (「Linux On Express5800」の「テクニカル情報」 - 「ノウハウ集」を参照してください)